

「令和5年度全国学力・学習状況調査」の結果分析と対策について

行方市立麻生中学校

今年4月に3年生対象に実施しました「令和5年度全国学力・学習状況調査」につきまして、本校の結果の分析と対策を以下のようにまとめましたのでお知らせいたします。

なお、本調査結果の分析をもとにして、さらに生徒の学力や生活習慣の向上を目指し、指導を進めていきます。

国語科

<分析>

- ・「話すこと・聞くこと」において、聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができています。
- ・「書くこと」において、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができています。
- ・「情報の扱い方に関する事項」において、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することに課題があります。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題があります。

<課題の改善に向けて>

- ・インタビューを行ったりレポートを書いたりする前に、目的や場面、意図に応じて資料を集め、資料から必要な情報を取り出して整理などの学習活動を行います。
- ・漢字の指導においては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、文脈に即して漢字を読んだり書いたりすることができるようにします。授業内や家庭学習の課題として、文脈に応じて同音異義語や同訓異字を書く練習を繰り返し取り組みます。

数学科

<分析>

- ・「数と式」において、問題場面における考察の対象を明確に捉えることができています。また、目標に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができます。
- ・「データの活用」において、四分位範囲の意味を理解できています。
- ・「図形」において、空間における平面が同一直線上にない三点で決定されることを理解することに課題があります。
- ・「データの活用」において、複数の集団のデータ分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があります。

<課題の改善に向けて>

- ・空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを観察や操作などの活動を通して理解できるようにします。また、身の回りにある事象を図形として捉え考察することを通して、空間における平面について理解を深められるようにします。
- ・目的に応じてデータを収集して分析し、その傾向を読み取って批判的に考察し判断することを通して、統計的に問題を解決することができるようにします。

英語

<分析>

- ・「聞くこと」において、情報を正確に聞き取ることができます。
- ・「読むこと」において、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができます。
- ・「読むこと」において、日常的な話題について、書く段落の主な内容を読み取り、それらを過不足なく関連付けて、短い文章の概要を捉えることに課題があります。
- ・「書くこと」において、疑問詞を用いた一般動詞の二人称単数過去形の疑問文を書くことに課題があります。

<課題の改善に向けて>

- ・説明文を読んで、概要を捉えるために、段落ないの文と文との関係を読み取りながら、書く段落の主な内容を捉えることができますようにします。短い説明やエッセイ、物語などの文章問題を読んだ上で、時系列に情報を整理したり、書き手が伝えたいことの大まかな内容などを把握したりします。
- ・場面や状況に応じて正確に英文を書くために、文脈から適切な文の形式や時制を判断できるようにします。その上で、意味内容の伝達のみにとどまるのではなく、生徒自身が英語表現の誤りに気付き、修正を加えながら正確さを高めていくようにします。

生徒質問用紙

<分析>

- ・「自分にはよいところがあると思う」と回答した生徒が多いです。
- ・「将来の夢や希望を持っている」と回答した生徒が多いです。
- ・「朝食の摂取」についての質問に課題があります。
- ・中学生という発達段階や学習内容に適した家庭学習の時間に課題があります。

<課題の改善に向けて>

- ・今後は、基本的な生活習慣の育成（睡眠時間の確保・朝食の摂取・むし歯予防）を図り、「早寝」「早起き」「朝ごはん」の大切さについて、繰り返し指導していきます。
- ・家庭学習のグッドモデルを掲示したり、ICTを活用したりすることにより、生徒が家庭学習を工夫し、充実できるようにしていきます。